

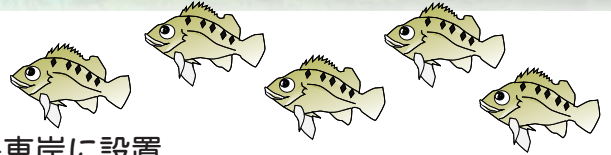
JFシェルナース効果調査報告①

小豆島の藻場にはメバルがいっぱい♪

「二十四の瞳」やオリーブで有名な香川県小豆島。今回は、この小豆島の東側に設置されたJFシェルナースの効果調査について紹介します。

長大なシダモクが繁茂！！

瀬戸内では桜が満開を迎えた4月上旬に、小豆島東岸に設置されたJFシェルナースの効果調査に向かいました。到着すると、そこには藻場が船の上からでもわかるほどビッシリと見られます。期待に胸を躍らせて潜ってみると、JFシェルナース上に繁茂するシダモクが！！その周りにはメバル幼魚の大群が数え切れないほど集まっていた♪



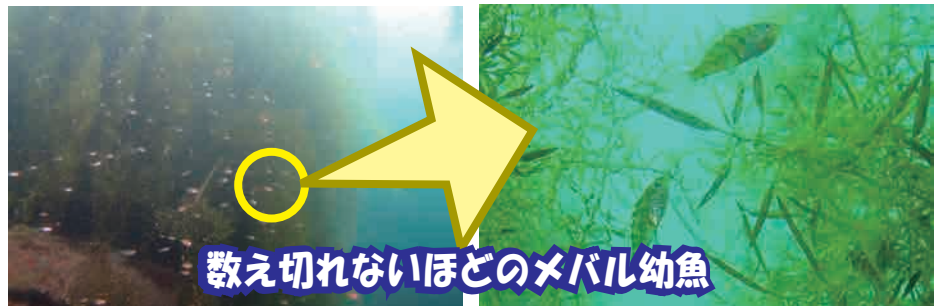
【調査 DATA】

月日：4月9日

場所：香川県小豆島

水深：5～6m

(沈設後2年)

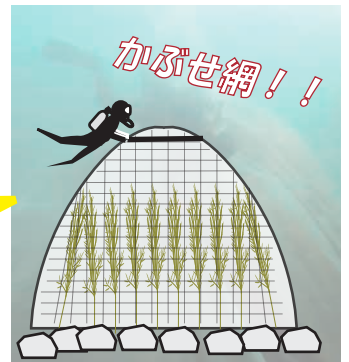


経済効果を試算 価値は200万円に♪

JFシェルナースの効果を確認するために、1基に着生する海藻を囲んで、かぶせ網と貝殻テストピースによる調査を行いました。

かぶせ網では約150kgもの海藻を採取し、メバル幼魚など約800尾の魚を捕獲することが出来ました。テストピースからはエビ・カニ類などのエサ生物が多く見られました。

海藻による浄化とエサによる増殖効果から、JFシェルナース1基の価値はおよそ200万円となり、費用対効果(B/C)は1.45と高い効果が発揮されていることがわかりました。



貝殻テストピース

※生物の採取については、香川県の特別再捕許可を取得して実施しました。